

学外研修報告

第 40 回分析機器 NMR ユーザーズミーティング 参加報告

共通機器部門 藤高 仁

1. はじめに（目的等）

自然科学系分野における核磁気共鳴装置（以後 NMR と略す）の操作・保守管理の基礎知識と共に最新の分析技術の習得及び意見交換を行い、教育・研究支援のためのスキルを向上させることを目的として参加した。

2. 期間・場所

期間：平成 29 年 12 月 7 日

場所：千里ライフサイエンスセンター（豊中市）

3. 参加者等

大学、研究所、民間会社の NMR 分析に携わる技術者及び研究者 約 200 名

4. 研修内容

聴講した講習・講演の内容は以下の通りである。

NMR メンテナンス基礎、¹⁹F-NMR 測定に関する技術、定量 NMR 技術の紹介、最新装置を利用した測定技術の紹介、データベースやピーク予測ソフトを利用した構造解析技術。

5. まとめと感想

基礎講座では日常のメンテナンスにおける注意点について学び、アタッチメント取り付け、取り外しのコツや清掃方法について学んだ。また構造解析において固体 NMR・X 線回折・電子線回折を用いてそれぞれの強みを活かした総合的な解析方法の話は大変興味を抱いた。その他、定量 NMR で便利なツールについて報告があった。

このたびの研修を受けた事により今後の業務遂行に際して大変役立つスキルを身に付ける事が出来たと考える。得られた情報を実践で活用するために日々の自己研鑽に励む必要があると感じた。